

平成19年度 事務事業評価表

担当 市民福祉部 看護専門学校 内線等 8006

事務事業名	教育・研究活動事業	事業コード	1. 一般事務事業（ソフト事業）			
根拠法令等	蒲郡市立ソフィア看護専門学校の設置および管理に関する条例、保健師助産師看護師法、保健師助産師看護師学校養成所指定規則、看護師等養成所の運営に関する指導要領、看護師等養成所の運営に関する手引き、蒲郡市立ソフィア看護専門学校学則及び学則施行細則、蒲郡市立ソフィア看護専門学校教育計画	A 法令	B 条例	C 規則	D その他	

総合計画での位置付け

基本目標	3. 健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	医療
------	---------------------	-----	----

事務事業の内容

対象（受益者）	看護専門学校の学生・専任教員に対して
手段	学生に教育活動を実施することで、専任教員の研究活動を支援することで
想定する成果	地域社会にくらす人々の健康と福祉に貢献できる看護師を育成する。また、専任教員の資質の向上を図る。

事業の概要

項目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
年度当初在籍者数(a)	117名	111名	114名
入学者数(b)	40名	37名	42名
卒業生数(c)	31名	29名	36名
退学者数(d)	12名	10名	3名
退学率(d/a)	10.3%	9.0%	2.6%
休学者数(e)	10名	6名	3名
留年者数(f)	3名	4名	4名
国家試験受験者数(g)	31名	29名	36名
国家試験合格者数(h)	30名	29名	36名
国家試験合格率：	96.8%	100.0%	100.0%
同上：全国平均(i)	90.6%	90.3%	90.0%
就職・進学者数	31名	29名	36名
教育計画（卒業年度）	93単位 3,044時間	97単位 3,051時間	97時間 3,064時間
教育実績（卒業年度）	93単位 3,095時間	97単位 3,097時間	97時間 3,064時間
教育運営の行政指導	0件	0件	0件
学会等 (入会状況)	公費負担 j 36,000円(4件) 私費負担 l 92,000円(12件)	36,000円(4件) 92,000円(12件)	36,000円(4件) 92,000円(12件)
学会等 (参加状況)	公費負担 k 53,000円(9件) 私費負担 m 287,000円(33件)	78,200円(9件) 354,100円(50件)	174,000円(9件) 350,000円(50件)
学会等発表	2件	2件	3件予定

成果指標

成果指標名	卒業率	看護師国家試験合格比率	教育計画実施率	行政指導	学会等の経費負担率
成果指標の説明	卒業生数(C) / 入学者数(b)	合格率(本校)(h/g) / 合格率(全国平均)(i)	教育実績時間数 / 計画時間数	指導件数	学会等費用(j+k) / 学校等費用(j+l+k+m)

事業の進捗状況

(一般 会計) (単位：千円)

	平成18年度決算（実績）	平成19年度決算（実績）	平成20年度予算（計画）
成果指標	77.5%	78.4%	85.7%
成果指標	106.8%	110.7%	111.1%
成果指標	101.7%	101.5%	100.0%
成果指標	0件	0件	0件
成果指標	19.0%	20.4%	32.2%
事業費	事業費	9,161	10,058
	人件費	36,890	40,137
	(人数)	正規 4.7 非常勤 0.1	正規 5.1 非常勤 0.1
	合計	46,051	50,195
財源内訳	国		
	県		
	市債		
	その他	9,161	10,058
	一般財源	36,890	40,137

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	3	2	3	【別紙1】のとおり
経済効率性	2	2	2	2	【別紙2】のとおり
事務効率性	2	2	2	2	【別紙3】のとおり
必要性	3	3	3	3	【別紙4】のとおり
小計	9	10	9	10	
施策への貢献度	3	-	3	-	【別紙5】のとおり
合計	12	10	12	10	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	A	A	【別紙6】のとおり
------	---	---	---	---	-----------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
【別紙7】のとおり
上記改善点の実施状況
【別紙8】のとおり

今後さらに改善すべき点

- ・学生の実践能力を高めるためのモデル人形・シュミレーター等の整備
- ・教員の資質向上のための、学会等への参加費、研究費・時間の確保(特に、平成21度からは新カリキュラムがスタートし、より教員に専門性が求められるため)
- ・新規開拓する実習施設の職員を教育する教員が必要なため、早急な欠員分の教員の確保

平成21年度予算に反映する項目

- ・欠員分の教員の人件費・講習会費用、教員の補助者の人件費の確保
- ・学会等の加入費・参加費の増額
- ・教材備品の新規購入・更新の費用の増額
- ・研究準備費の予算化

今後の方向性

拡大、充実

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。

